


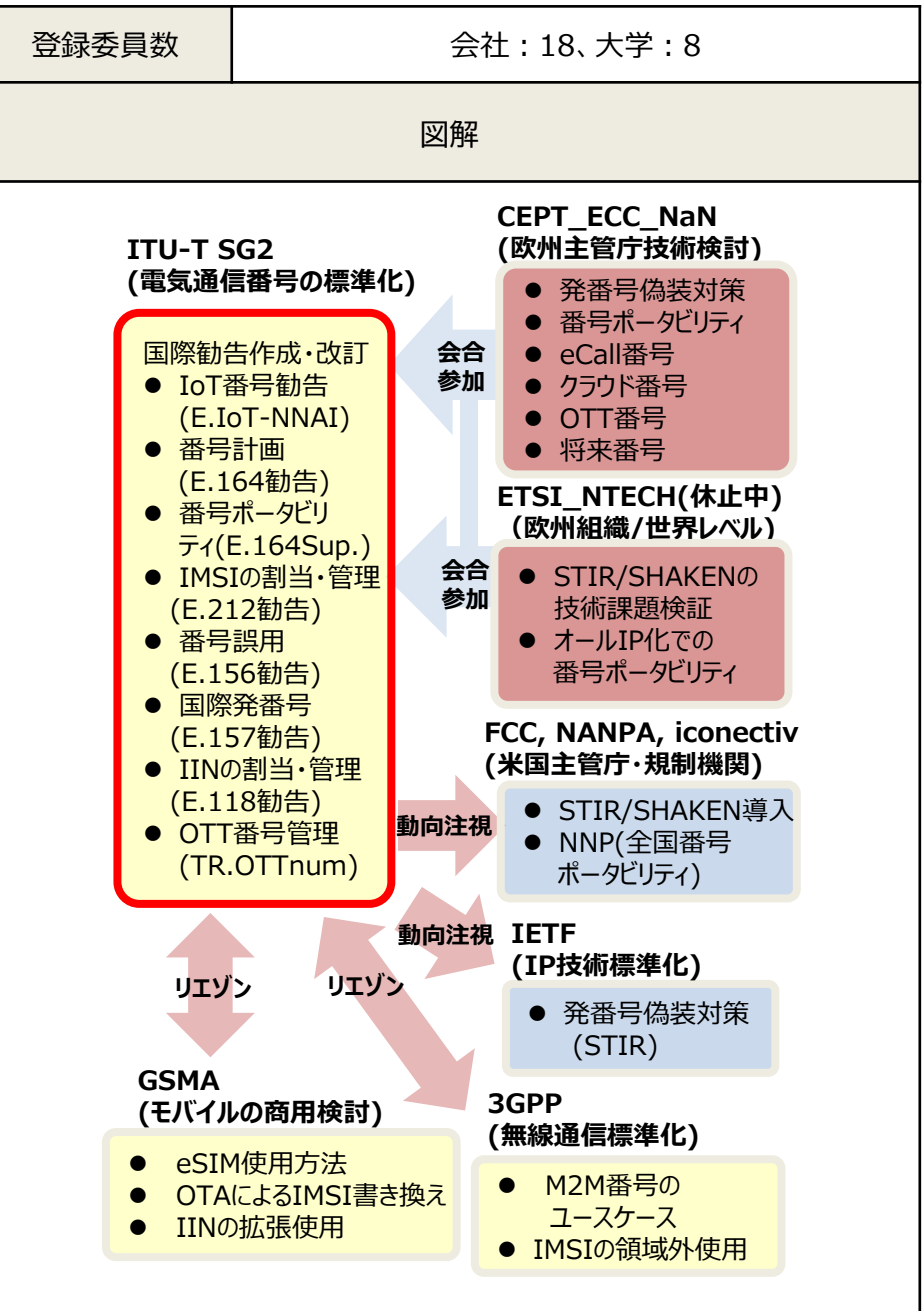
中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

番号計画専門委員会

1/3

| | |
|-------------------------------|---|
| 企画戦略委員 | 辻河 亨(NTT) |
| 委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー | 委員長：森田 公剛（NTT）、副委員長：井上 統之（KDDI） |
| 活動の目的・意義 | IoTサービスやOTTサービスの進展とグローバル化ならびにIPマイグレーションの進展、Beyond 5Gへの展開等による番号計画上の対応（新規・改訂勧告の策定）を、関連する分野の専門組織と連携しながら進め、今後のサービスの発展に向け有限な番号リソースが有効に活用されることを目的とする。 |
| 活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む) | ITU-T SG2での課題取り組みへの対応を基本とする。 具体的には、①新規勧告の策定（OTT番号、キャリアスイッチング、IoT番号、番号利用の適正化、国際番号リソース全般の割当手順の規定の統合・プロセス監査、番号ポータビリティ、IMSI・IIN等）、②個別検討・申請への対応（AIを用いた災害マネジメントFGのアウトプット、各種番号リソースの割当申請等）が課題である。 |
| 関連のSDGsゴール |  |
| 標準化方針 | <ul style="list-style-type: none"> 国内動向に関連する番号関連標準の作成、修正等の必要性については、ITU-T SG2に加え、関連する標準化団体、欧州及び米国の番号主管庁・規制機関等の動向を見極め、判断を行う。 上記判断により、必要に応じてTTCドキュメント作成・改訂に着手する。 |
| 国内外の標準化団体等の動向 | <ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG2では、OTT番号、キャリアスイッチング、IoT番号、番号利用の適正化、番号ポータビリティ・キャリアスイッチング等の課題に関する勧告化を検討中。 ETSI NTECHでは、網のIP化での番号ポータビリティ方式、発番号詐称対策等の課題検討が幅広く実施され、番号方式のノウハウが蓄積されてきた。 IETFでは、発番号偽装対策方法を検討するSTIR（Secure Telephone Identity Revisited)WGにて、技術的な議論が継続されている。 欧州郵便電気通信主管庁会議(CEPT)配下のECC-NaN（Numbering and Networks)では、番号の技術的検討を実施。TTCとの合同セミナーを2019年度に実施するなど、相互理解を深める活動を行ってきている。 米国の番号主管庁・規制機関であるFCC, NANPA, iconectivでは、発番号偽装対策のSTIR/SHAKEN導入、NNP(全国番号ポータビリティ)、番号逼迫対策などの課題が幅広く検討されている。 |



| <p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p> | <p>1. ITU-T SG2での検討課題（IoT/M2M用の番号計画に関する新規勧告の策定、IMSIの割当管理に関する勧告E.212改訂、IIN(Issuer Identifier Number)の割当に関するE.118勧告改訂、番号ポータビリティ・キャリアスイッチングに関する勧告の改訂等）に対し、会合及び関連するラポータ会合に参加し、動向を注視するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施。特に、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等に関しては積極的にアップストリーム活動を実施。</p> <p>2. 国内での番号方式に関する普及活動として電気通信番号セミナー開催、TTCLレポート・ITUジャーナル等への投稿を実施予定。また、欧州との相互理解を深めるために、欧州ECC-NaNとの交流を継続し、テクニカルレポート(ECCLレポートの翻訳)の作成実施。</p> | | | |
|---|--|---|--|--|
| <p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> 特になし | | | |
| <p>主な活動項目</p> | <p>概況指標</p> | <p>2022年度目標(当初計画時)</p> | <p>2022年度実施状況</p> | <p>記事</p> |
| <p>① アップストリーム 他団体との連携</p> | <p>寄書数</p> | <p>2件</p> | <p>2件</p> | |
| | <p>外部会合への参加・連携状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> SG2会合(5月) 参加 SG2会合(2023年2月または3月)参加への準備 ECC-NaN全体会合(5月、10月)参加 米国番号規制組織(iconectiv, NANPA等)との意見交換 | <ul style="list-style-type: none"> SG2会合(5月) 参加 SG2のQ1/Q2ラポータ会合参加(11月) ECC-NaN全体会合(6月、11月)への参加 ECC-NaN2会合(6月、10月)への参加 <p>※米国番号規制組織との意見交換は1月以降に実施予定</p> | |
| <p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p> | <p>JJ標準</p> | <p>0件</p> | <p>0件</p> | |
| | <p>TS/TR/SR</p> | <p>0件/1件/0件 ※実施候補：ECCLレポートの翻訳（候補：番号への信頼）</p> | <p>0件/0件/0件</p> | <p>欧州でのECCLレポートの作成が予定より伸びたので次年度の計画に移行する。</p> |
| <p>③ ダウンストリーム</p> | <p>数</p> | <p>0件</p> | <p>0件</p> | |
| <p>④ プロモーション 普及推進</p> | <p>セミナー</p> | <p>番号政策・将来番号方式等に関するセミナーの企画によるプロモーションの実施(2023年1月予定)</p> | <p>未実施</p> | <p>発表者候補の総務省メンバーの人事異動があり次年度の計画に移行する。</p> |
| | <p>記事投稿、講演会</p> | <p>TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を実施</p> | <p>TTCLレポート(10月号)、ITUジャーナル(9月号) への投稿による普及活動を実施</p> | |

| <p>新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み</p> | <p>1. ITU-T SG2での検討課題（OTT番号、キャリアスイッチング、IoT番号、番号利用の適正化、国際番号リソース全般の割当手順の規定の統合・プロセス監査、番号ポータビリティ、IMSI・IIN、各種番号リソースの割当申請等）に対し、会合及び関連するラポータ会合に参加し、動向を注視するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施。特に、番号ポータビリティ、OTT番号に関する寄書提案等に関しては積極的にアップストリーム活動を実施。 2. 国内での番号方式に関する普及活動として、TTCLレポート・ITUジャーナル等への投稿を実施。</p> | | | |
|---|--|--|-------------------|-----------|
| <p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> 特になし | | | |
| <p>主な活動項目</p> | <p>概況指標</p> | <p>2023年度目標(当初計画時)</p> | <p>2023年度実施状況</p> | <p>記事</p> |
| <p>① アップストリーム 他団体との連携</p> | <p>寄書数</p> | <p>2件</p> | | |
| | <p>外部会合への参加・連携状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> SG2会合(2023年3月、10月)参加を行い、適宜意見交換も行う。 | | |
| <p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p> | <p>JJ標準</p> | <p>0件</p> | | |
| | <p>TS/TR/SR</p> | <p>0件/1件/0件 ※実施候補：ECCLレポートの翻訳（候補：番号への信頼：ECC report 338 CLI Spoofing）</p> | | |
| <p>③ ダウンストリーム</p> | <p>数</p> | <p>0件</p> | | |
| <p>④ プロモーション 普及推進</p> | <p>セミナー</p> | <p>番号政策・将来番号方式等に関するセミナーの企画によるプロモーションの実施(2024年1月予定)</p> | | |
| | <p>記事投稿、講演会</p> | <p>TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を実施</p> | | |